

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0290400068	
法人名	有限会社 居宅支援ハート	
事業所名	ハートハウス	
所在地	青森県黒石市あけぼの町105番地2	
自己評価作成日	平成23年11月24日	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会	
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20番30号 県民福祉プラザ3階	
訪問調査日	平成23年12月9日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の個性や生き方を尊重し、その方が得意とする力を発揮できるように努めている。 ・利用者や御家族が、ホームを「第二の我が家」と思えるような関わり合いを大切にしている。 ・医療連携により、御家族・利用者・スタッフの安心が得られている。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>運営法人が訪問看護ステーションを経営しているため、医療面での連携体制が充実しており、利用者の状況の変化に応じ看取りの段階まで対応できる体制となっている。管理者と職員の関係が良好で、ケアについての意見の吸い上げや業務改善等、職員が意見を出しやすい環境が作られている。居間は季節が感じられる装飾や利用者・職員の写真が飾られ家庭的な雰囲気にあふれている。職員の会話の口調や動きもゆったりとして利用者が落ち着いて過ごせるよう配慮されている。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を毎日唱和し、日々の業務の指針として意識づけを心がけている。また、理念は玄関・事務所・各ホール、目の届くところに掲示している。	地域密着型サービスの役割を反映させた理念を掲げ、毎日のミーティングで確認し合い、実践につなげている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に属し、地域の一員として地域活動に参加し、地域の人と交流することに努めている。	町内会に加入し清掃活動に参加するほか、回覧板を利用し住民にホームの周知を働きかけている。近隣の高等学校の運動会や学園祭へ参加するなど、地域との交流が図られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣を散策したり、スーパーに出かけたり、日常的な付き合いが出来るよう努め、地域の理解や協力を得られるよう努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の活動状況や今後の予定などを報告している。意見やアドバイスはサービスの質の向上に活かせるよう努めている。	運営推進会議では利用者の暮らしぶりやヒヤリハット等について報告されている。そこでの意見や提案は前向きに検討され、サービスの向上に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	定期的な事務連絡のほか、運営推進会議での意見交換を図っており、何かあった際にはいつでも相談できる関係にある。	わからない事や疑問点があった際は、運営推進会議に留まらず、その都度電話や出向く等し、日頃から相談にのってもらったり助言をいただいている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者の意向や行動を制限したり、言葉による拘束についても職員間で気を付けるよう徹底している。	無断外出が何度かあり家族の了解の下、顔写真と名前を警察署に提出し協力体制を整えている。現在玄関の施錠はせず取り組んでいる。困難事例の発生に応じて対策を検討している。	禁止の対象となる具体的な行為等を文書で明示することやマニュアルの作成、勉強会の実施など職員の意識付けや対応の統一を図る取り組みに期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	お互いのケアを確認しあい、日常業務においても見過ごされることがないように注意を払っている。気付いたことはその場で注意し合うよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度を学ぶ機会が少なく、また難しく理解が十分ではない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入退居には管理者や介護支援専門員が説明を行い、不安や疑問についても相談がなされている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常の中で、利用者・家族が思いや意見を気軽に話せるような雰囲気づくりを心がけている。面会の際には要望をうかがうなど個別に対応し、サービス向上に努めている。	玄関には意見箱を設置している。利用者からは日頃の関わりや会話を通して、家族からは面会時や電話連絡の際に意見を吸い上げ、できることから一つずつ運営に反映されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月定期的にスタッフ会議を開催し、提案を聞く機会を設け、意見について検討・改善を図っている。	定例のスタッフ会議や申し送りで、職員の意見や提案を聞いたり、スタッフ会議に出された意見は前向きに検討され、運営に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定時会議の他にも実情把握のため積極的にホームを訪れ、気づいたこと等アドバイスしたり、自ら改善案を提示してくれる。勤務シフトも必ず目を通し、不平等がないよう配慮してくれている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内での研修(勉強会)を開催。代表の発案で認知症に関する本を回し読みするなどもしている。また、外部の研修にも業務として参加できるよう配慮してくれている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	黒石地域のグループホーム研修会に参加する機会設けてくれたり、代表の声掛けでお互いの施設見学が気軽にできるような関係づくりがなされている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前、入居中の相談はもちろん、安心して生活が継続できるよう傾聴し、信頼関係が出来るよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者同様、家族にも不安や要望について十分に相談できる時間を設け、信頼関係が出来るよう努めている。また、月1回は利用者の日常を手紙で報告している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に管理者や介護支援専門員が、利用者・家族と十分に話し合うようにしている。また、入居後にも連携を図り対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の要望をうかがい、職員がサポートするよう努めている。また、過剰介助にならないよう、利用者が出来ることはなるべく御本人に行って頂くようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月手紙で利用者の様子をお伝えしている他、面会時にも都度日々の様子を報告している。また、体調変化時の対応、その後の状況報告も行い、家族と共に利用者の生活を支えていけるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの美容院の利用、また、かかりつけ医の受診継続を行っている。今までの生活が継続してできるよう、慣れ親しんだ関係を大切にしている。	利用者がこれまで関わってきた人や馴染みの場所等を把握し、家族の協力も得ながら関係を継続できるよう支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個々の性格の把握に努め、余暇活動や行事で利用者同士がより良い関係を築けるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居に際しては、次のサービス事業者に出る限り情報提供する等している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話や表情・動作などから、思いや意向の把握に努め、利用者本位の生活が継続していけるよう、職員間で情報交換を行っている。また、カンファレンスも開催している。	日々の関わりの中から利用者の思いや意向等の把握に努め、職員で共有されている。意思疎通が難しい方に対しては、家族からの情報や本人の視点にたつて思いを汲み取り、検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居に際し家族や関係機関から情報提供頂くようにしている。また、入居後も家族から情報収集したり、会話の中で利用者自身から教えて頂くことも多い。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の個々の生活状況を把握し、状況に応じた支援が出来るように努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者、家族の意向を踏まえ作成している。また、スタッフの意見も参考にし、全職員が統一したケアが行えるよう心がけている。	介護計画は利用者や家族の意向を汲み取りながら作成されている。計画は利用者に変化があればその都度、変化がない場合でも定期的に見直しされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、ケアの実践・結果は個別記録に記入。また、職員間で情報を共有しながら、介護計画に反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	会話や表情・動作などから、思いや意向の把握に努め、利用者本位の生活が継続していけるよう、職員間で情報交換しながら取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近場の観光地へのドライブや買い物等支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	よほどのことがない限り、入居前のかかりつけ医の受診を継続支援している。	これまでの受診状況を把握し、利用者や家族の希望する医療機関に通院している。状態や治療に変化があった場合は、受診結果を家族に報告し、情報を共有されている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	心身の変化や気づきについては、密に情報を看護師へ報告・相談しアドバイスをもらったり、直接見てもらうようにして健康管理に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報の把握に努め、家族と共に情報を共有し、都度変化に対応できるよう心掛けている。入院に際してはサマリー提供している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	開設して間もない為、現在まだ例がないが、主治医・協力医療機関、訪問看護等、協力体制が整っている。御家族には入所に際し重要事項にて説明している。	利用時に重度化した場合や終末期について家族と確認している他、状態変化などがあればその都度、関係者の意向を伺っている。看護師の配置の他、協力病院等の支援を受けられる体制となっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	多くのスタッフは救急隊による救急救命の講習会をうけているが、実践できるかは自信がない状態である。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を計画実施。次回は夜間想定にて、近隣の協力を依頼し実施する予定である。	火災訓練を実施しており、職員は通報・避難・誘導等の基本的技術の取得に努めている。地震に備えての備蓄をされ、停電になっても蓄熱のため2日程は大丈夫であるが、実践的な地震訓練は行われていない。	地震に備え、実践的な訓練を行うことが望まれる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けに関しては、特にトイレ誘導・衣類汚染時等、プライバシーが守られるように対応している。本人不在の居室への出入りの際にも、必ず声掛けしてから入室するよう心掛けている。	利用者一人ひとりへ敬意をもち、自尊心を傷つけないよう言葉づかい等に配慮して対応されている。	マニュアルの作成や勉強会等を通し、職員の意識付けや対応の統一を図る取り組みに期待したい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者から気持ちを引き出せるような声掛けや、要望を聞くことにより利用者本位の生活ができるよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事・起床・就寝など、個別の生活リズムに合わせた対応に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	なじみの美容院の利用や、季節に合った衣類の着用等援助している。外出や行事の際には御家族に衣類の持参を協力頂いている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎食時メニューを紹介し、食べる楽しみを促すようにしている。食事の準備・後片付け等、役割をもち、楽しみながら行えるよう支援している。	利用者は自主的に手伝い、希望や能力に応じ役割を持ちながら生活されている。主食に関しては、希望に応じてパン食にしたり、嫌いなものは代替食にしたりする等、配慮されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	好みやレベルに合わせて食べやすい形態を工夫している。また、摂取量を記録して健康把握に努めている。入居時には必ず好き嫌い等確認し、代替メニューを提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、義歯・口腔内の洗浄を声掛け、または介助により清潔が保てるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄を記録し、利用者一人一人の排泄リズムの把握に努めている。また、排泄を伝えられない利用者であっても、可能な限りトイレ排泄の介助を行っている。	利用者一人ひとりの排泄パターンを記録し、把握している。夜間、オムツ使用の方も日中はトイレでの排泄ができるよう支援されており、失敗時もトイレ内で交換出来るよう個々のパット等を準備したり、羞恥心に配慮されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表により排便状況を把握、必要時は下剤調整を行うが、日頃より運動や水分摂取、繊維質のものを促すなど工夫している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた支援をしている	利用者の好みの湯加減を配慮。午後入浴とし、一人一人ゆっくりくつろげるよう対応している。体調や気分によっては時間や翌日によらず等、臨機応変に対応している。	入浴は午後としているが、入浴を拒否される方には状態やその時々のお気持ちを配慮し、午前に変更したり翌日でも入浴できるよう支援されている。また、熱め・温め等、一人ひとりの希望を踏まえて支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々のお状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転が起きない程度の声掛けはするが、ホームのスケジュールを強制するような働きかけは行わない。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬説明書は個別ファイルにあり、スタッフがいつでも確認できるようになっている。また、全スタッフが服薬にかかわり、誤薬・飲み忘れ防止の確認作業も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の調理や後片付け、縫い物・編み物等、利用者が得意とすることを支援している。また、ドライブ、散歩、ビデオ鑑賞などで気分転換を図れることを日常に取り入れている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節に応じてドライブや近隣の散歩を楽しんでいる。また、地域の行事参加で外出機会を確保している。	週1回ドライブの曜日を儲け、月に1回は全員が出かけられるように取り組んでいる他、個々の希望に合わせて、近隣の散歩や買い物に行く等日常的に外出できるよう支援されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には事務所で管理しているが、管理可能な利用者はお小遣い程度を自分で財布に持っている。買い物時には自由に使えるよう支援している。(職員見守りで)		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ホーム内の電話は希望すればいつでも使ってもらっている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内には室温計や加湿器を設置。共有空間には観葉植物、絵画、季節の飾りを掲示するなどし、心地よい空間づくりに努めている。	日射しに合わせ、ロールカーテンの開け閉めをしている。テレビの音量は会話の妨げにならないよう調節されている。ウッドデッキを利用してプランターで野菜を植えたり、お茶を飲んだりする等、季節を感じながら過ごせるよう心配りされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールテーブルで気の合う者同士が集まったり自由に過ごしている。夏にはウッドデッキで談笑しながらお茶を楽しむ場面が多く見られた。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には慣れ親しんだものを持って来て頂くようお願いしている。利用者自身の好みや使い慣れたものを置くことで安心して生活できるよう支援している。	利用者は使い慣れたベッドやタンス、椅子や思い出の品等を自由に持ち込み、思い思いに過ごされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホーム内はバリアフリーで手摺も設置されている。歩行スペースには障害物を置かない、床濡れがないか等、職員は常に気配りしている。		